

平成 27 年 9 月 29 日

報道関係各位

東京建物株式会社



GOOD DESIGN

2015 年度グッドデザイン賞 6 件受賞

「としまエコムーゼタウン」(街区・地域開発部門、地域・コミュニティづくり/社会貢献活動部門)

「Brillia ときわ台ソライエレジデンス」(住宅・住空間部門) ほか

東京建物株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役 社長執行役員:佐久間 一)は、2015 年度グッドデザイン賞(公益財団法人日本デザイン振興会主催)を次の 6 件で受賞しましたのでお知らせします。

1. 「としまエコムーゼタウン(豊島区役所、Brillia Tower 池袋)」

東京都豊島区

(街区・地域開発部門、地域・コミュニティづくり/社会貢献活動部門
計 2 部門)

公共施設である豊島区本庁舎と民間分譲住宅を立体的に複合した、国内初の一体再開発プロジェクト。官民協働により、新たなコミュニティ形成の場と地域の未来のまちづくりにつながる場を創造。

※当社、南池袋二丁目 A 地区市街地再開発組合、豊島区、一般財団法人首都圏不燃建築公社の共同受賞。



(としまエコムーゼタウン 外観)

2. 「Brillia ときわ台ソライエレジデンス」東京都板橋区(住宅・住空間部門)

ときわ台の地において、長く営まれてきた歴史性を継承した外観デザイン・ランドスケープに加え、東日本大震災を受け「もしものときへの備え」及び「つながりの大切さ」を積極的に取り入れた次世代の暮らしのモデルとなる新しい住まい方を創造。

3. 「グレイプスフェリシティ戸塚における MEMS (マンションエネルギーマネジメントシステム) を主とした見守りシステム」(ソフトウェア・サービス・システム/インターフェイス部門)

主に節電施策に活用される MEMS を活用した、見守られる高齢者にとっても、見守る家族・介護事業者にとっても負担がかからない「そっと見守り」システム。

※当社、株式会社日立製作所、株式会社日立アーバンインベストメントの共同受賞。

4. 「SKYZ TOWER&GARDEN」東京都江東区(住宅・住空間部門)

東京の都心でありながら広大な運河に囲まれた新豊洲エリアに、初めて人々が暮らす大規模タワーマンション・認定こども園の一体開発プロジェクト。緑や水に囲まれた自然環境と抜群の開放感を備えた本立地において、生物多様性の実現を目指したランドスケープや地中熱利用による環境対策、最新の免制震システムによる防災対策を施し、開放感と心地よさ、眺望の良さを感じられる「トライスター型」のタワーマンションを計画。

※当社、三井不動産レジデンシャル株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、東急不動産株式会社、住友不動産株式会社、野村不動産株式会社、東京電力株式会社の共同受賞。

5. 「ミリカ・テラス」大阪府吹田市(住宅・住空間部門)

豊かな自然と利便性を兼ね備え、関西屈指の住環境を誇る北摂千里丘。この地で大人が自分の人生を豊かに楽しめる街づくりを目指し、自宅とは異なる居心地の良さを備えたもう一つの空間、「ハナレ」を共用部に計画。

※当社、株式会社大京、関電不動産株式会社、株式会社長谷工コーポレーション、新日鉄興和不動産株式会社の共同受賞。

【プロジェクトの概要】

1. 「エコミューゼタウン（豊島区役所、Brillia Tower 池袋）」東京都豊島区

（街区・地域開発部門、地域・コミュニティづくり／社会貢献活動部門 計2部門）

日本初の区本庁舎・集合住宅一体型再開発事業として地域ポテンシャル向上への寄与を目指しました。官民協働による「集う」と「住まう」をテーマに、低層の庁舎にはエコのミュージアム機能やホール機能を与え、街に開かれた「集う」場を創出し、高層の集合住宅では優れた眺望の確保、区本庁舎上に居住することによる、安心安全な「住まう」場を創出しました。

また、新たなコミュニティ形成と地域の未来につながる場とするため、地域の環境特性を取り込み、区民が守りつなげるべき自然や文化を保全・育成・展示し、地域社会が継承すべき環境を身近に体感できる場所とするとともに、太陽光発電機能を有したガラス手摺や壁面パネルによる「エコヴェール」を外装全面に設けるなど、環境にも配慮した計画としました。

・審査員の評価コメント

【街区・地域開発部門】

区庁舎と民間分譲住宅を一体的に計画した、国内でも初めての複合用途の再開発計画である。巨大で威圧感を与えそうな外観は、小さな単位に分節された有機的な表情で街に溶け込み、緑化と相まって街に潤いを与えている。また庁舎と住宅という異例の組み合わせは、今後の高齢化社会にとっては、むしろ安心感に満ちた都市の姿のモデルなのかもしれない。

【地域・コミュニティづくり／社会貢献活動部門】

建て替えが極めて難しい区役所庁舎の建設スキームのなかで、階層ごとに豊島区内の同じ標高の場所と同じ自然条件をつくりだし、各階に特徴的な小自然を実現させたというランドスケープデザインを評価したい。また、それを環境学習として利用するプログラムと結びつけている点も優れている。庁舎という公共施設に付随する屋外空間のあり方に新たなバリエーションを提示したといえよう。

事業主：南池袋二丁目A地区市街地再開発組合

所在地：東京都豊島区南池袋2-45

交通：東京メトロ有楽町線「東池袋」駅徒歩1分、JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン「池袋」駅徒歩8分

敷地面積：8,324.91㎡

構造規模：RC造、S造、一部SRC造 地下3階、地上49階、塔屋2階

延床面積：94,681.84㎡

住戸数：432戸（非分譲住戸110戸含む）

専有面積：30,050.22㎡

設計監理：株式会社日本設計

デザイン監修：隈研吾建築都市設計事務所

ランドスケープ：ランドスケープ・プラス

施工：大成建設株式会社

竣工：2015年3月2日



（豊島の森）



（環境教育プログラム）

2. 「Brillia ときわ台ソライエレジデンス」東京都板橋区（住宅・住空間部門）

「ときわ台」は昭和初期に欧米の都市計画に倣い開発された住宅地で、「クルドサック」や「並木道」などの景観をもち、それぞれが住民同士のコミュニティを誘発する役割を担っていました。そのような歴史を持つこの地域において、本建物は次世代生活モデルを目指しました。最先端の設備によるエネルギーの活用や井戸による生活水の確保、防災備品の備蓄によって「備え」を整えるとともに、居住者たちが空間・物品・数々のイベントを共用（シェア）することにより自然にコミュニティが発生し「つながり」が生まれることで、豊かな生活を実現できると考えました。建物計画段階より自然なコミュニティの発生を実現させるべく、ハード・ソフト両面での「しくみ」を盛り込みました。

・審査員の評価コメント

利便性の高い敷地における大規模マンションの開発例だが、外部空間にコミュニティスペースとしての積極的な性格付けを行い、住民がそこでの庭造り等の活動を通して自然と交流できるように仕組みられている点が評価できる。

事業主：東京建物株式会社、東武鉄道株式会社

所在地：東京都板橋区前野町二丁目 36-6（地番）

交通：東武東上線「ときわ台」駅徒歩 10 分、都営三田線「本蓮沼」駅徒歩 16 分

敷地面積：12,209.50 m²

構造規模：鉄筋コンクリート造・地上 15 階建

延床面積：26,683.10 m²

住戸数：329 戸

専有面積：61.05 m²～106.76 m²

設計：三井住友建設株式会社一級建築士事務所

施工：三井住友建設株式会社 東京建築支店

竣工：平成 26 年 11 月 27 日



（Brillia ときわ台ソライエレジデンス 外観）



（コミュニティテラス）

(見守りシステムのイメージ図)

4. 「SKYZ TOWER & GARDEN」 東京都江東区（住宅・住空間部門）

東京の都心でありながら広大な運河に囲まれた新豊洲エリアに、初めて人々が暮らす大規模タワーマンション・認定こども園の一体開発プロジェクトです。緑や水に囲まれた自然環境と抜群の開放感を備えた本立地において、生物多様性の実現を目指したランドスケープや地中熱利用による環境対策、最新の免制震システムによる防災対策を施し、開放感と心地よさ、眺望の良さを感じられる「トライスター型」のタワーマンションを計画しました。かつては工場地だった新豊洲エリアですが、オリンピックが決まり、今後さらなる発展が期待されています。当プロジェクトが今後の湾岸エリアの住まいのモデルケースとなることを目指しました。

・審査員の評価コメント

日本では珍しいトライスター型タワーマンションである。大規模で全方位に眺望が抜けている立地でしか成し得ないこの形式は、都心に住むことの魅力を改めて教えてくれる。緑豊かな屋外空間を全周囲に纏わせながら、その魅力を享受できる設えや共用施設が随所に張り巡らされており、成功を収めている。

事業主：三井不動産レジデンシャル株式会社、東京建物株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、

東急不動産株式会社、住友不動産株式会社、野村不動産株式会社、東京電力株式会社

所在地：東京都江東区豊洲6 丁目2-31

交通：東京メトロ有楽町線「豊洲」駅徒歩 12 分、ゆりかもめ「新豊洲」駅徒歩 5 分

開発総面積：21,242.52 m²

総戸数：1,110 戸

構造規模：鉄筋コンクリート造 地上 44 階・地下 2 階・塔屋 2 階建（住居棟）、地上 3 階建（公共施設棟）

竣工：平成 27 年 2 月 25 日



（SKYZ TOWER & GARDEN 外観）

5. 「ミリカ・テラス」 大阪府吹田市（住宅・住空間部門）

豊かな自然と利便性を兼ね備え、関西屈指の住環境を誇る北摂千里丘で、「ミリカ・テラス」を含む、総戸数 1489 戸（予定）の街づくりを行っています。1st プロジェクト「ミリカ・ヒルズ」では「子供の未来（子育て）」を重要視する子育て世帯に焦点を当てた街づくりに取り組みました。

2nd プロジェクト「ミリカ・テラス」では、大人も自分の人生を楽しめる街づくりを目指し、大人の秘密基地「ハナレ」を計画しました。「ハナレ」とは「個」（家族や仲間、あるいは 1 人）の充足に特化した共用施設群であり、趣味に没頭できる音楽スタジオやガレージ、家族や気の合う仲間と楽しむ囲炉裏部屋やログハウス、人目を気にせず、一人の時間を楽しむカラオケルームやフィットネスルームなど、さまざまな空間を用意しました。「ハナレ」を時間ごとにシェアすることで、自宅とは適度な距離を保ちながら、「個」の時間を楽しむことができます。これまでの集合住宅にはない、「個」の充足により、暮らしを豊かにする提案です。

・審査員の評価コメント

集合住宅に住人が共有する「ハナレ」を設置、様々な用途に対応して活用できるアイディアは、単なるゲストルーム、単なるキッズルームとは異なる生活空間の延長の仕方を提示している。

事業主：株式会社大京、東京建物株式会社、関電不動産株式会社、株式会社長谷工コーポレーション、

新日鉄興和不動産株式会社

所在地：大阪府吹田市千里丘北 1-24 他

交通：JR 京都線「千里丘」駅より徒歩 15 分

敷地面積：270,161.03 m²

構造規模：鉄筋コンクリート造、地下 1 階・地上 15 階、陸屋根、共同住宅

住戸数：651 戸

設計：株式会社長谷工コーポレーション

大阪エンジニアリング事業部

施工：株式会社長谷工コーポレーション

竣工：平成 27 年 3 月 13 日



（ミリカ・テラス 外観）